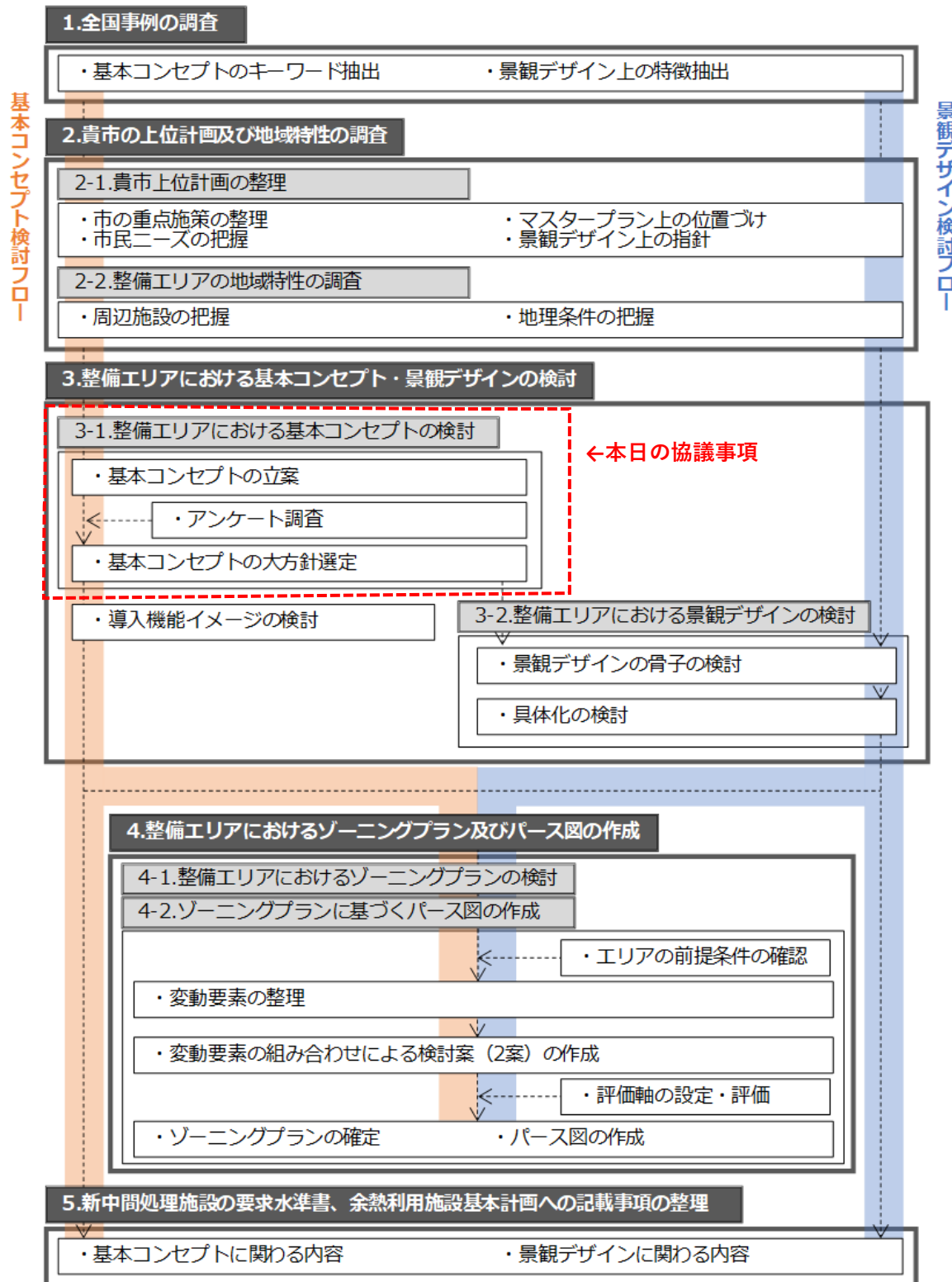


1. 本日打ち合わせにおけるご相談項目

本日の検討会の目的は、アンケート調査結果報告と基本コンセプト大方針に関するご相談です。



基本コンセプト検討フロー

景観デザイン検討フロー

←本日の協議事項

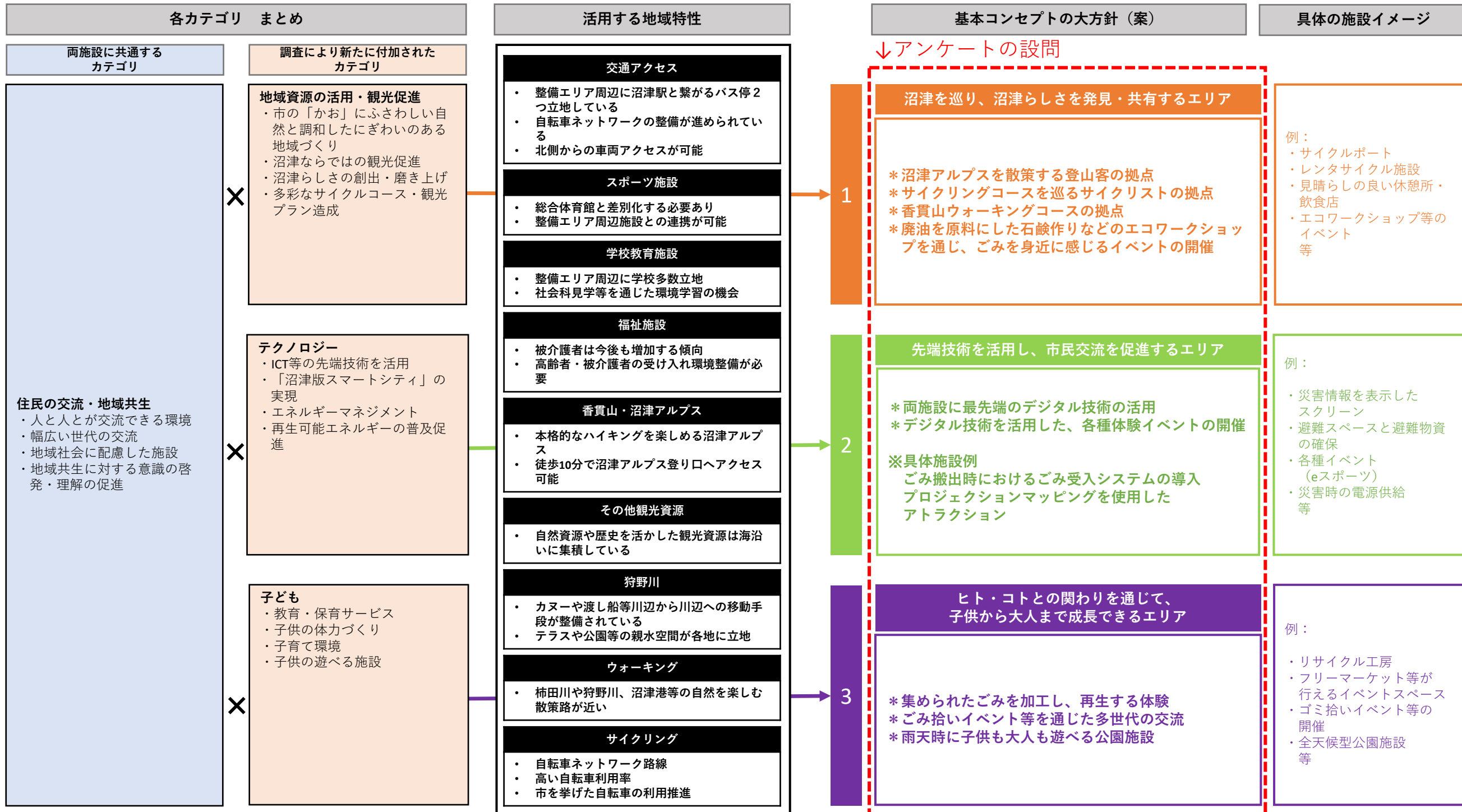
2. 基本コンセプト（案）について 調査結果まとめ

カテゴリ		新中間処理施設 基本方針	新屋内温水プール 基本コンセプト	事例調査	上位計画	各カテゴリ まとめ	
両施設の 基本方針・基本 コンセプトとして 既に検討 されている項目	循環型社会の 推進	・地球に優しい施設 ・資源や熱エネルギー 等を効率よく利活用 できる施設	—	・3Rを推進する施設 ・環境負荷を低減する施設 ・循環型利用と適正な処分に優れた施 設	・環境負荷の少ない持続的な発展が可能な循 環型社会の実現を図る ・環境を大切に作る人づくり	循環型社会の推 進	・地球環境に優しい ・3Rを推進 ・資源や熱エネルギーを効率よく利活用
	安定・安全性	・安定・安全性に優れ た施設	—	・市民が安心して生活できる災害に強 い施設 ・災害に強い施設づくり ・モニタリング体制の整備	・災害に強い安全・安心な生活環境づくり ・防犯体制の強化や災害、非常事態に対して 強靱なまちづくり ・気候変動の影響を踏まえた災害対策の推進	安定・安全性	・災害に強く安心・安全 ・防犯体制の強化
	経済性	・維持管理が容易で経 済性に優れた施設	—	・経済性に優れた施設	・維持管理に優れた素材を使用する	経済性	・優れた経済性 ・維持管理が容易 ・維持管理に優れた素材を使用する
	住民の交流・ 地域共生	・市民に開かれた施設	・人と人が交流で きる環境	・参加と対話で築くまちづくり ・幅広い世代と一緒に過ごせる空間を 演出 ・地域に融和する施設 ・地域社会に配慮した施設 ・障害者への配慮	・コミュニケーションのある安全・安心な地 域づくり ・地域共生に対する意識の啓発・理解の促進 ・都市的サービスを楽しむことができる居住空 間を創出 ・便利で快適な居住環境の整備	住民の交流 ・地域共生	・人と人とが交流できる環境 ・幅広い世代の交流 ・地域社会に配慮した施設 ・地域共生に対する意識の啓発・理解の促 進
	啓発・学習	—	—	・人と文化を育むまちづくり ・市民がともに学び・遊び・育むこと ができる施設 ・もったいないを育む施設	・学校教育・生涯学習と連携した啓発活動 ・社会生活に必要なことを学ぶ機会の提供 ・環境意識に対する市民意識向上	啓発・学習	・学ぶ機会の創出 ・学校教育・生涯学習と連携した啓発活動 ・学び・遊び・育む
	自然環境との 調和	・周辺環境と調和した 施設	—	・人と自然が共生するまちづくり ・景観及び建築デザインに配慮した施 設づくり ・地域への融和に貢献する施設 ・森の中の再生工場	・市街地の後背の斜面緑地景観を適切に保全 ・河川景観の向上 ・生態系の多様性を含む自然環境の保全・活 用を図る ・自然や豊かな生態系が持続するまち ・周辺の景観と調和する色彩とする ・建築物の周囲や敷地内の積極的な緑化	自然環境との調 和	・周辺環境との調和 ・自然環境の保全 ・斜面緑地景観を適切に保全 ・景観及び建築デザインに配慮 ・建築物の周囲や敷地内の積極的な緑化
	健康づくり	—	・健康づくり・体力 づくりを推進する 環境 ・生涯にわたりス ポーツに親しめる 環境	・人に優しく健康を支えるまちづくり ・人生100年健康時代	・高齢者の生きがいづくり・健康づくり ・生涯スポーツの推進 ・スポーツ環境の整備 ・健康づくりの支援	健康づくり	・生涯にわたりスポーツを楽しめる ・生きがいづくり・体力づくり ・人生100年健康時代
事例調 査・上位 計画・地 域特性の 整理に よって新 たに付加 された項 目	地域資源の活 用・観光	—	・町のシンボルの創出 ・建築材の地産地消 ・〇〇らしさの発信	・市の「かお」にふさわしい自然と調和した にぎわいのある地域づくり ・沼津ならではの観光の提供 ・地域資源の創造と磨き上げ ・地域資源を活かした多彩なサイクルコー ス・観光プランの造成による誘客の促進	・市の「かお」にふさわしい自然と調和した にぎわいのある地域づくり ・沼津ならではの観光の提供 ・地域資源の創造と磨き上げ ・地域資源を活かした多彩なサイクルコー ス・観光プランの造成による誘客の促進	地域資源の活 用・観光	・市の「かお」にふさわしい自然と調和し たにぎわいのある地域づくり ・沼津ならではの観光の提供 ・沼津らしさの創出・磨き上げ ・多彩なサイクルコース・観光プラン造成
	テクノロジー	—	・次世代スマートライフを発信する まち ・エネルギーマネジメント	・まちづくりにICT等の先端技術を活用した 「沼津版スマートシティ」の実現 ・再生可能エネルギーの普及促進	・まちづくりにICT等の先端技術を活用した 「沼津版スマートシティ」の実現 ・再生可能エネルギーの普及促進	テクノロジー	・ICT等の先端技術を活用 ・「沼津版スマートシティ」の実現 ・エネルギーマネジメント ・再生可能エネルギーの普及促進
	子ども	—	・全天候型公園施設	・誰もが必要とする教育、保育サービスが受 けられる場の確保 ・子供の体力づくり ・子育てしやすい環境整備の支援	・誰もが必要とする教育、保育サービスが受 けられる場の確保 ・子供の体力づくり ・子育てしやすい環境整備の支援	子ども	・教育・保育サービス ・子供の体力づくり ・子育て環境 ・子供の遊べる施設

←両施設に共通するカテゴリ

←調査により新たに付加されたカテゴリ

2. 基本コンセプト（案）について



3. アンケート調査の概要及び結果

3-1) アンケート調査の概要

- * 目的：新中間処理施設及び余熱利用施設に係る整備エリアの施設基本コンセプト策定に向けた市民意見の収集
- * 調査方法：郵送・回収&Webアンケート
- * 配布戸数：1,165戸（近隣自治会全戸配布465戸＋無作為抽出700戸）
- ※根拠：アンケートの必要回答数としては、信頼度95%・信頼区間を5%以下としたとき、約400人分の回答が必要。一方で、弊社の手掛けたアンケート調査の事例では約1か月弱の集計期間で回収率が40~45%であった。今回、回答期間が約3週間と短く設定されているが、アンケート調査表に合わせてGoogle Form等のWeb回答併用を想定しているため、概ね40~45%の回答率が得られると推測する。よって、アンケートの配布数は本施設の利用が見込まれる沼津市民のうち1,000戸で充分と考える。

3-2) 必要資料

①~④の印刷物を⑤の封筒に封入して郵送する想定。①~⑤資料（案）については別添資料参考。

① アンケート調査のご案内（A4片面×1）

- ...・本アンケート調査の概要説明
- ・Webアンケートへの回答フォームも添付

② 整備エリアの概要説明資料（A4両面×1）

...・整備エリア及び新中間処理施設、新屋内温水プールの整備方針を説明した資料

③ アンケート調査票（A4両面×3~4）

...・アンケート調査の回答記入表

④ 返信用封筒（長6：110mm×220mm）

- ...・回答記入したアンケート調査票を封入し返信してもらうための封筒
- ・料金受取人払により切符の添付は不要（手続き済み）
- ・9月末までに返送された封筒のみ有効

⑤ 往信用封筒（洋長3：120mm×235mm）

- ...・①~④を封入し発送するための封筒
- ・宛名はシールでの添付を想定

3-3) Webアンケートフォームについて

- * Microsoft Formsを利用
- * 右記QRコード（イメージ）を〔①アンケート調査のご案内〕に添付
- * 市民は匿名で回答

3-4) 質問項目

1. 問1 回答者属性
 - 各設問とのクロス集計により属性間の傾向を把握する
 - ※「第50回 市民意識調査（令和5年度）」を参考に今回必要な情報に着目して抽出
2. 新中間処理施設に関する設問
 - 新中間処理施設に期待する内容の把握
 - 問2 新中間処理施設の市の取り組みの認知度
 - 問3 「沼津市新中間処理施設整備基本設計」における6つの整備方針について重視する項目
 - 問4 リサイクル工房（ショップ）の要否
 - 問5 新たに導入したい機能について（自由記述）
3. 新屋内温水プールに関する設問
 - 新屋内温水プールに期待する内容の把握
 - 問6 取り組みの認知度
 - 問7 「新屋内温水プールに係る整備エリアの基本コンセプトについて
 - 問8 新たに導入したい機能について（自由記述）
4. 整備エリア全体の基本コンセプトに関する設問
 - 整備エリア全体を包括する基本コンセプト優先順位の把握
 - 問9 整備エリア全体の基本コンセプト3案のうち重要と考える案
 - 問10 整備エリアへ求める機能（自由記述）
5. 公園整備に関する設問
 - 整備エリアに設置する公園整備の必要性
 - 問11 公園整備の必要性について
 - 問12 必要とする市民の公園へ求める機能（自由記述）
 - 問13 必要としない市民の意見（自由記述）
6. その他
 - 施設利用に関する現況・認識把握
 - 問14 現況整備エリアに抱いているイメージ
 - 問15 交通手段
 - 問16 要望・意見等（自由記述）

沼津市新中間処理施設等に関する沼津市民アンケート調査票



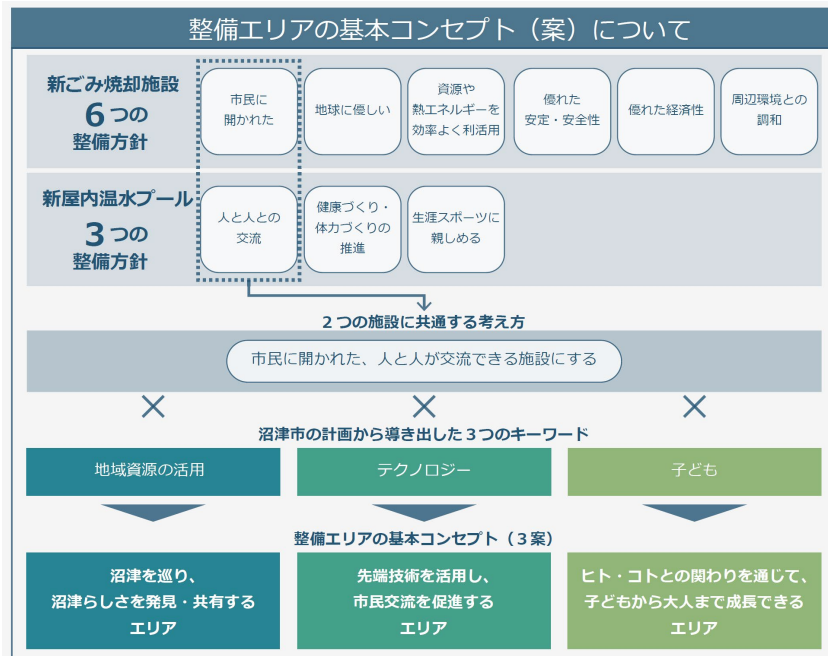
3. アンケート調査の概要及び結果

3-5) アンケート調査結果について

配布数1,165に対して、紙面回答320、Web回答80、合計400（34.3%）の回答を得た。

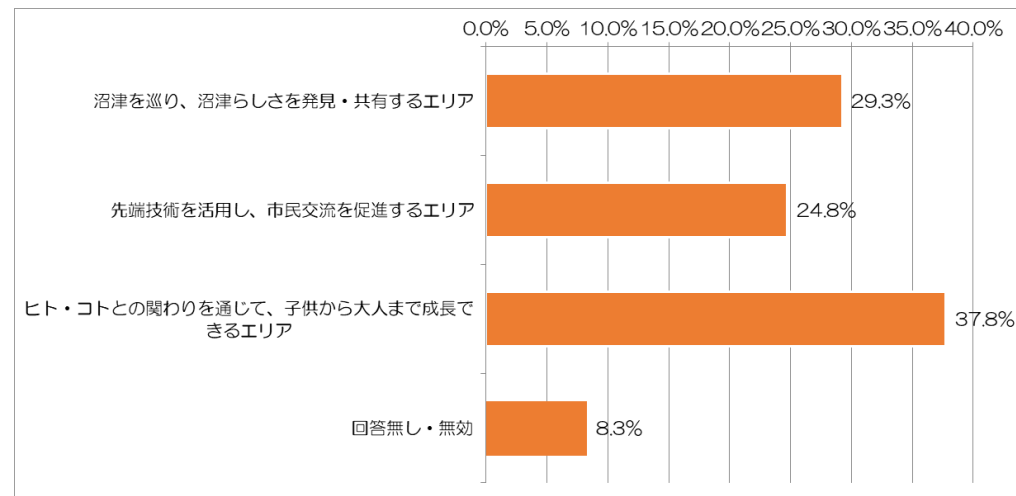
各問いに対する傾向や自由記述欄では多くの記入があり市民側からの生の意見を得られており、基本コンセプトの策定に当たっては有効に活用できるものとする。※集計結果詳細は別添報告書参照

アンケート資料の中で、下記の整備エリアの基本コンセプト3案に対して、市民より意見を収集した。



単純集計結果

基本コンセプト3案に対し、問9で、最も重要だと考える案を選んで頂いたところ、以下の結果となった。



[3. ヒト・コトとの関わりを通じて、子供から大人まで成長できるエリア] が最も得票数が多く、次いで、[1. 沼津を巡り、沼津らしさを発見・共有するエリア] [2. 先端技術を活用し、市民交流を促進するエリア] となっている。

クロス集計結果 [年齢別]

回答者の年齢別に問9への回答を集計した結果は以下の通りとなった。

若者（10代・20代）を除き、幅広い年代から[3. ヒト・コトとの関わりを通じて、子供から大人まで成長できるエリア] が支持されていることが分かる。一方で若者（10代・20代）からは[2. 先端技術を活用し、市民交流を促進するエリア] が支持されており、世代間で支持するコンセプトへの偏りが見られた。

問	全体	合計		1. 沼津を巡り、沼津らしさを発見・共有するエリア		2. 先端技術を活用し、市民交流を促進するエリア		3. ヒト・コトとの関わりを通じて、子供から大人まで成長できるエリア		99. 回答無し・無効	
		回答件数	割合	回答件数	割合	回答件数	割合	回答件数	割合	回答件数	割合
(2) 年齢											
1. 10代	3件	0%	3件	100%	0件	0%	0件	0%	0件	0%	0%
2. 20代	10件	10%	6件	60%	3件	30%	0件	0%	0件	0%	0%
3. 30代	29件	24%	10件	34%	11件	38%	1件	3%	1件	3%	3%
4. 40代	60件	20%	18件	30%	29件	48%	1件	2%	1件	2%	2%
5. 50代	77件	31%	21件	27%	29件	38%	3件	4%	3件	4%	4%
6. 60代	77件	32%	19件	25%	31件	40%	2件	3%	2件	3%	3%
7. 70代以上	121件	36%	19件	16%	39件	32%	20件	17%	20件	17%	17%
99. 回答無し・無効	23件	22%	3件	13%	9件	39%	6件	26%	6件	26%	26%
(4) 家族構成											
1. 単身世帯	62件	26%	17件	27%	26件	42%	3件	5%	3件	5%	5%
2. 夫婦だけの世帯	121件	35%	29件	24%	41件	34%	9件	7%	9件	7%	7%
3. 2世代世帯	137件	26%	35件	26%	55件	40%	11件	8%	11件	8%	8%
4. 3世代以上の世帯	35件	31%	8件	23%	14件	40%	2件	6%	2件	6%	6%
その他	23件	9%	2件	9%	3件	13%	0件	0%	0件	0%	0%
99. 回答無し・無効	22件	18%	3件	14%	9件	41%	6件	27%	6件	27%	27%

全体 +20ポイント
全体 +10ポイント
全体 -10ポイント
全体 -20ポイント
全体 0票

自由記述内容 [抜粋]

その他自由記述回答では多くのご意見をいただいております。新ごみ焼却施設への[学び]に関する機能の導入や、[くつろぎの場]の整備、遊具等を設置した[遊び]の場整備要望等が挙げられています。

[学びに関する要望]

- * 予約なしで見学できる施設。
- * ワンフロアで全ての施設を見学できる場所。
- * ごみ処理を楽しみながら学ぶことのできる学習装置。
- * 資源や熱エネルギーや環境問題を勉強できる場所。
- * ゴみの価値を知ることは必要。

[遊びに関する要望]

- * 水遊びが出来る公園。
- * ドッグラン。
- * バasketボール・フットサル等ができるハードコート。
- * 巨大な遊具と水遊び。
- * アスレチックコース。

[くつろぎの場整備に関する要望]

- * 緑の中でくつろげる、動かなくてもゆっくりすごせるスペース
- * 桜など四季が感じられる植樹。
- * 簡単な遊具やベンチで、大人も子供もくつろげる公園
- * 休憩所、売店
- * 大人や高齢者でも行きたくなるような設備があってほしい。

4. 基本コンセプト大方針について

4-1) 基本コンセプトの大方針（案）策定

- * アンケートの結果、3案いずれもおおよそ25%得票しており、極端に支持が得られていない案はないことから、どれか一つに絞るという方法ではなく、3案を柱とした基本コンセプトの大方針を新たに策定する。
- * 基本コンセプト大方針については、[2つの施設に共通する考え方] や [3つの柱]、[アンケート 調査の結果（投票・自由記述）] を踏まえて抽出したキーワードを組み合わせることで、基本コンセプトの大方針となるキャッチコピーを策定する。
- * 基本コンセプト大方針の下に据える3つの柱は、アンケートの得票数に応じて①→③の順番で並べる。

2つの施設に共通する考え方

市民に開かれた、人と人が交流できる施設にする

3つの柱

柱① ヒト・コトとの関わりを通じて、子供から大人まで成長できるエリア

柱② 沼津を巡り、沼津らしさを発見・共有するエリア

柱③ 先端技術を活用し、市民交流を促進するエリア

アンケート調査（自由記述）での要望

学び / 遊び / くつろぎ

キーワード①

- ・ アンケートの結果最も得票数が多かった案から [関わり] [成長]
- ・ アンケートの自由記述より導いた学び、遊び、くつろぎから [公園]、[パーク]

キーワード②

- ・ 沼津らしさを表す [ポート] [沼津アルプス]
- ・ 沼津で盛んな [サイクリング] [ハイキング]

キーワード③

- ・ 沼津の市民憲章である “人の [和] ”
- ・ 人と人との [輪]
- ・ 子供や大人が成長していくことで重ねられる [年輪]

キーワード④

- ・ ごみ処理施設の特徴として [サステナブル] [環境] [リサイクル] 等

基本コンセプト大方針 ※右記7案を検討委員会にてご相談

基本コンセプト大方針（案）

案①

ツナグ、サステナブル。

tsunagu,Sustainable.

人と人をつなぎ、人とまちをつなぎ、人と未来を持続可能につなぐ。繋ぐという文字数の多い漢字とSustainableという英字をどちらもカタカナにすることでアーバンな雰囲気を狙っている。

案②

ワとワとワ。

沼津の市民憲章である“人の和”をもとに、人の [和] む場所、[環] 境に配慮した場所であり、子供や大人が成長していくことで重ねられる年 [輪] をあらわした案。驚きや笑いの「ワ！」ともとれるよう、カタカナにすることで、人が笑っているようにも見える。ひらがなの「と」で間をとりもつことで連動を表現している。

案③

むすんで、拓いて。

童謡「むすんで、ひらいて♪」から着想。人と人、人と沼津、人と環境を結ぶことで、新たな未来が拓かれる。開拓の「拓」の文字を使用することで、次の世代へのパイオニア的施設とされるような願いも込めている。

案④

C + N
connect to NUMAZU

読みは「コネクト トゥ ヌマヅ」。和訳は「沼津に繋がる」。またcにはcivil（市民）、Tがプラス記号にも見えること、沼津のNをロゴのように配置し、アパレルのようにおしゃれなデザインとした。

案⑤

sustainable port
サスティナブルポート

持続可能を表す [サステナブル] と港町である [ポート] を組み合わせた案。山のふもとに完成する持続可能な施設を優しく表現し、丸ゴシックフォントを使い、角がなく誰もが受け入れやすいコピーとしている。

案⑥

re-cycle park

ごみ処理場の [リサイクル] や熱やエネルギーが [サイクル]（循環）する場所であるイメージを表した案。リサイクルから着想し、循環の象徴となるサークルをモチーフに海、山、川の自然豊かな沼津を表現している。

案⑦

リサパ
L I S A P A